

病名： 急性喉頭蓋炎（重症度は、度）

症状： 急激におこる咽頭痛と嚥下痛・呼吸困難・発熱。

病態： 喉頭蓋は。気管の入り口にあります。この喉頭蓋が炎症により腫れています。  
細菌感染によることが多いです：溶血連鎖球菌が主体ですが、嫌気性菌による  
こともあります

発症の背景因子：喫煙による咽喉頭粘膜の慢性刺激、糖尿病が重要です。

重症度：Ⅰ度（軽度）＝喉頭蓋のみの軽度腫脹がある

Ⅱ度（中等度）＝喉頭蓋の腫脹+披裂部～披裂喉頭蓋ひだの腫脹がある

Ⅲ度（高度）＝喉頭蓋の高度腫脹により披裂が観察できない

治療：

1) 安静・禁煙

2) 薬物治療：抗生物質、ステロイド・・・重症では、点滴で、軽症では内服で

3) 吸入療法：抗生物質、ステロイド、エピネフリン（ボスミン<sup>®</sup>）

4) 外科的治療：呼吸困難が高度で生命の危険がある場合に行います。

小児では、55-60%に、成人では9-10%が必要となります。

小児では、気管内挿管による呼吸管理が必要です。

成人では、一時的な気管切開が必要です。

合併症：10%のかたに、全身的合併症もおこることが知られています。

特に、糖尿病のあるかたには起こりやすいです。

1) 肺水腫（肺に水がたまる）

呼吸器科医による呼吸管理が必要です

2) 頸部膿瘍（頸部に膿がたまる）

グロブリン製剤の投与や外科的切開排膿を要することがあります。

3) 縦隔膿瘍（心臓や食道の回りに膿がたまる）

グロブリン製剤の投与や外科的切開排膿を要することがあります。

補足)

・治療中に疑問に思ったことは、ただちに医師、看護師に訴えることが大事です。

何でも遠慮せずに、お申し出ください。

・治療中、行ないたくない治療などいつでも患者さまのお申し出により中止することができます。

市立三次中央病院・耳鼻咽喉科